

第4回次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を実現する有識者会議の開催について

令和元年9月9日
企画管理部教育政策課

第4回「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を実現する有識者会議」を令和元年8月1日（木）午後5時からTKPガーデンシティ千葉で開催しました。

第4回の会議では、「世界を舞台に活躍する人材の育成と、『楽しい』『喜び』に満ちた社会の創造」をテーマに御意見をいただきました。

協議に先立ち、専門家である特別委員から15分程度ずつ御意見をいただき、その後で、参加した委員全員で意見交換を行いました。

1 日 時 令和元年8月1日（木）午後5時から午後7時30分まで

2 場 所 TKPガーデンシティ千葉 3階「シンフォニア」

3 内 容

世界を舞台に活躍する人材の育成と、『楽しい』『喜び』に満ちた社会の創造

4 出席委員等

(1) 委員

大田紀子委員、久留島浩委員、銭谷眞美委員、中山理副座長、福中儀明委員、渡部茂樹委員

（天笠茂委員、最勝寺奈苗委員、貞廣齋子座長、鈴木みゆき委員は所要のため欠席）

(2) 特別委員

吉田研作特別委員、小笠原匡特別委員、マセソン美季特別委員

5 委員の主な意見

【吉田研作特別委員】

- 今の中高生には、自信が無い、外国語を使いたくないなど、自己肯定感が低い様子がかいま見られる。どのように自尊心や自信を持たせるのかが一番大事である。
- 先生方は、子供たちの自由な発言に対する対応の仕方を分かっていない。発言をどのように捉え、どのように評価するか、先生方もトレーニングできるとよい。

【小笠原匡特別委員】

- 千葉県でも、伝統文化にふれる環境づくりをもっと進めていただき、子供たちに本物に触れさせることが大切である。
- 英語も大切だが、母国語である日本語教育も大切である。国やグローバルについて語るためには、語学力以前に、それを構築する力を持たなければならない。

【マセソン美季特別委員】

- 「『楽しい』『喜び』に満ちた社会の創造」のためには、セルフエスティーム（自己肯定感）を高めることが大切である。
- “Impossible”（不可能）のIとmの間にアポストロフィを入れるだけで、“I’m possible”（私にはできる）に変わる。不可能だと思えたことも、見方や考え方を変えたり工夫したりすれば出来るようになる。